

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送りがな

/5

四 熟語の構成

/6

五 部首

/6

六 対義語

/6

七 書き取り

/16

合計

/55

合格のめやす

39問(7割)

一 線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① 買い物の金額をけいさんする。

② 花だんにチューリップを植える。

③ 大きな音で目を覚ます。

④ たまごを五つかった。

⑤ 赤しんごうで車が止まる。

⑥ 暴風に気をつける。

⑦ ゆうびんやさんから手紙を受け取る。

⑧ よくかむと消化によい。

⑨ きょう試験がある。

⑩ 百までかぞえた。

⑪ タやけの空が美しい。

⑫ こうえんに子どもが何人いますか。

二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

① 知

画

② 油

画

③ 詩

画

④ 医

画

三

——線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい

くるまがとまる。

止まる

① くつのひもをむすぶ。

② 名前をシールにつける。

③ とびらをひくとあいた。

④ 夏休みがもうすぐおわる。

⑤ こたえがただし。

四

次の熟語の組み立ては、「」の「ア」～「エ」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの(れい 岩石)

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの(れい 左右)

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの(れい 青空)

エ 下の漢字が「く」を「く」に「に」にあたるもの(れい 読書)

① 安価

--

② 防風

--

③ 救済

--

④ 採血

--

⑤ 興亡

--

⑥ 貯水

--

五

部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

れい

イ
(にんべん)休
やす
む才
(てへん)①
術
ぎ②
く
まね糸
(いとへん)③
食
ぎゅう④
く
つつ冫
(こざとへん)⑤
危
けん⑥
る
かぎ

六

反対の意味のことばを、「」から
えらんで漢字で書きましょう。

れい

大きい ⇄ 小さい

「たんすう しんじる りえき ふやす ていか
げんそく」

① 複数 ⇄

② 疑う ⇄

③ 向上 ⇄

④ 例外 ⇄

⑤ 減らす ⇄

⑥ 損失 ⇄

七

——線のことばを、漢字で書きましょう。

① 図工のどうぐをじゅんびした。

② 新しいじょうほうを知る。

③ むかしはいどから水をくんだ。

④ さくねんより大きくなった。

⑤ 家族でかんこうりょ行に行く。

⑥ 近くの店は朝十時にかいてんする。

⑦ ともだちとおなじクラスになった。

--	--

⑧ はしらにせの高さのしるしをつける。

--	--

⑨ 大切なざいさんをまもる。

⑩ きょうとふには、古いお寺が多い。

⑪ よいおこないをする。

--	--

⑫ 公園のちゅうおうに大きな木がある。

⑬ にちじょう生活をたいせつにする。

⑭ むのでふくろを作る。

--	--

⑮ なわとびのきろくがのびた。

--	--

⑯ けっかをつける。

--	--

